

兵庫県薬剤師会 公開・オプトアウト書式

研究課題名	兵庫県薬剤師会の残薬報告管理システムを用いた自宅に眠る医薬品（残薬）が与える経済損失に関わる調査
研究の意義・目的	<p>年々、増加の一途をたどっている医療費の削減は全ての医療従事者として取り組むべき課題です。その中で薬剤師は、患者さんの状態や服用薬を把握し、重複投薬や相互作用の有無等を確認することや残薬確認後の日数調整、残薬防止に介入することも業務の一つです。この残薬に関しては、薬剤師が介入することで残薬削減やアドヒアランスの向上に繋がることはもちろんのこと、残薬削減効果の額は、100億円～6500億円と複数の報告が確認されているもののその報告数としては多くありません。そこで、今回、兵庫県薬剤師会に所属する保険薬局を対象に残薬調整の実態調査を行い、残薬の現状、額、理由等を明らかにし、さらに残薬の解消に向けた方策の検討を行うことを目的に本研究を行うことで医療費の削減に寄与できるものと考えております。</p> <p>なお、本研究では、研究対象者に対して新たな介入や追加の負担を伴う行為は一切行わず、既に薬局業務の中で取得された情報のみを用います。また、研究対象者の不利益を最小化するため、個人が特定されないよう必要な措置を講じたうえでデータを取り扱う形で行います。</p>
研究を行う期間と対象者	2027年3月31日に至るまで兵庫県薬剤師会に所属する薬剤師が業務中に残薬を確認した患者さん
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報	<p>薬剤師が業務の過程で得られた以下の情報。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残薬整理を実施した薬局名 ・残薬整理を実施した月日 ・患者情報：生年月日、年齢、性別、残薬調整の機会（在宅訪問時又は来局時） ・残薬の確認場所の情報：自薬局又は他薬局又は院内処方又は不明 ・残薬の情報：医薬品名、数量（金額）、残薬理由、疑義照会有無、数量に対する再使用数返却数・処分数
情報提供元（試料・情報の提供を行う期間の名称及びその長の氏名）	兵庫県薬剤師会 会長 三宅 圭一
提供する試料・情報の取得方法	兵庫県薬剤師会会員が使用できるホームページより研究機関へ報告される

<p>提供する試料・情報を用いる研究に関わる研究・管理について責任を有する者</p>	<p>【研究責任者】 兵庫県薬剤師会 連携推進部 理事 中川 卓也</p> <p>【研究分担者】 兵庫県薬剤師会 常務理事 小玉 博一 兵庫県薬剤師会 常務理事 泉 憲政 兵庫県薬剤師会 常務理事 畑 世剛</p> <p>【情報管理責任者】 兵庫県薬剤師会 副会長 吉田 太郎</p>
<p>試料・情報を利用する者の範囲</p>	<p>兵庫県薬剤師会 会員</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>報告された情報は全て兵庫県薬剤師会の研究に関わる限られた担当者のみ閲覧可能なサーバーにて厳重に保管されます。この研究で得られた結果が、学会や薬剤師会の主催する研究会にて公表されることはありますが、薬局名、生年月日など個人情報に関することは含まない形で解析するため個人情報が公表されることはありません。</p>
<p>研究に協力したくない場合</p>	<p>残薬に関わる情報が当該研究に用いることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p>
<p>連絡先</p>	<p>兵庫県薬剤師会 連携推進部 TEL：078-341-7585 FAX：078-341-7113</p>